

## 第 25 回 コムズフェスティバル 市民企画分科会 実施報告

グループ名	女性と防災の会		
開催日時	令和6年2月3日(土)10:00~12:00		
テーマ	トイレは命をつなぐもの part2~みんな困った！災害時のトイレ		
形式	講話&ワークショップ		
講師等	松山市公営企業局上下水道サービス課 松山市環境部環境指導課	黒川氏 清水氏	
参加人数	女性 25名	男性 11名	合計 36名
<p>〈内容〉災害時のトイレの問題を二部構成で学習</p> <p>【 第1部 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当会代表(小国)より災害時のトイレ状況や過去の大災害時の実態紹介並びに派生するいろいろな諸問題を説明 (約15分)</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松山市公営企業局上下水道サービス課の黒川氏によるお話 公共下水道の仕組みと宅内排水設備の説明とそれらが災害時に破損したり、断水、停電でおこる問題と対策について (約15分)</li> <li>・松山市環境部環境指導課の清水氏によるお話 公共下水道を使用していない浄化槽対応の場合について、その仕組みと災害時の自分でできるチェック点や日頃の点検、管理の業者さんへの連絡などについて (約15分)</li> </ul> <p>★休憩前のワンポイントアドバイスタイム(約5分)</p> <p>当会のメンバー川口より災害避難時の服装についてポケットの多いベストの提案とタオルを使って簡単に作れるアイデア防災頭巾の紹介</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">  </div> <p style="text-align: center;">休憩</p> <p>★事前に配布していた質問カードへの回答(約10分)</p> <p>【 第 2 部 】ワークショップ(全体で約1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフから自宅と避難所のトイレ対策や家族の排泄回数やその備えについての説明</li> <li>・便器が使えない時や簡易トイレが不足した時、簡単に作れる段ボールトイレを作る 6つのグループ(各5~6名)の各テーブルに準備した段ボール5枚程度とガムテープを使って、くるくる巻きトイレのレシピに従って、段ボールトイレを作ってもらおう</li> <li>・実際にできたトイレに座ってもらい強固さを確認</li> </ul>			

- ・できたくるくる巻きトイレに二重に袋をかけ、凝固実験をする

新聞紙をちぎったり丸めたりした中に約 300ml の水を注ぎ、水の吸収具合や凝固状態を観察する。猫砂、ペットシート、凝固剤も同様に水を入れて比較する。

(各グループにスタッフが入り助言する)



- ・質疑応答、参加者の感想を聞き、講師からまとめの一言をいただく
- ・Google フォームによるアンケートを行い、記入後にアンケートを公開し、閉会したアンケートの回答は別紙

#### 〈参加者の感想〉 - アンケートより抜粋 -

- ・災害時のトイレの大切さがよく分かった
- ・災害関連死が、トイレ問題によるものが多いことに驚き、食料や水より先にトイレの備えであると知り、大変勉強になった
- ・下水道や浄化槽について全く知らなかったので勉強になった
- ・簡易トイレを実際に作る事と実験がよかったし、参考になった
- ・防災ベストを早速準備したい
- ・水より食料よりトイレが先、職場で共有したい

#### 〈まとめ〉

昨年の夏ごろから計画準備に入った今回のテーマである災害時のトイレ問題は、今年の元旦に起こった能登半島地震でまさに全国的にクローズアップされ、自分たちにとってこんなに身近で大変な問題であると痛感させられた。

そのタイミングでの分科会であったことも理由かもしれないが、たくさんの方にお申込みいただいた。

内容的には、過去の災害時でのトイレ問題やそれらについての反省や対策が十分に活かされず災害関連死に繋がっている事、また、断水や停電の状況下で自分たちの身に降りかかった場合下水道や浄化槽の仕組みも知らずに乗り切ることができるのかなど、本当に身近な問題として考えることができるものとなったのではないかと。しかも実際に段ボールトイレを作り、備蓄すべきものは何がいいのかを知る実験なども行い、参加者自らが体感できるものとした。

2時間で講話とワークショップの二部構成で、かなり盛りだくさんの内容をこなすため参加者の期待に充分応えられたか、アンケートの結果も踏まえしっかり検証したい。

今後もこのトイレの問題については引き続き学習を重ね、PART3、PART4 を考えていかなければならないだろう。